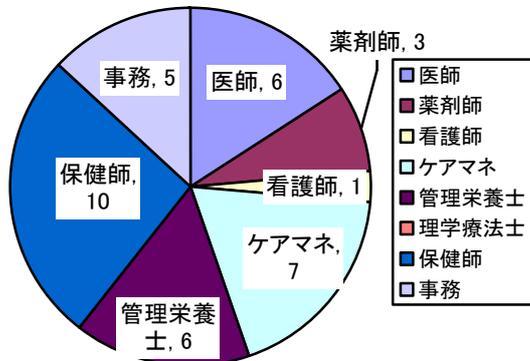


第2回 蒲郡腎臓病ネットワーク 参加者アンケート結果

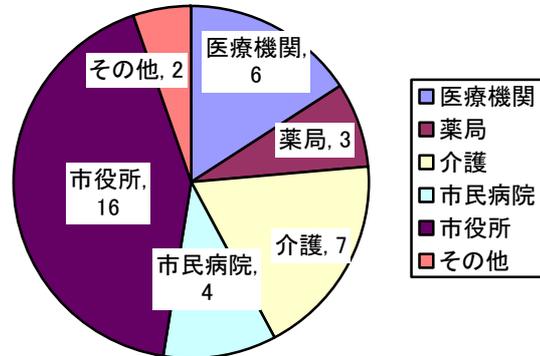
(2019.12.7)

参加 38名 アンケート回収 30名

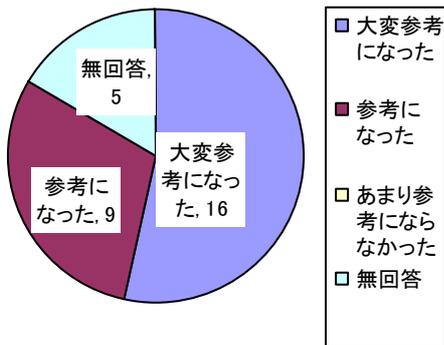
1 職種



2 所属

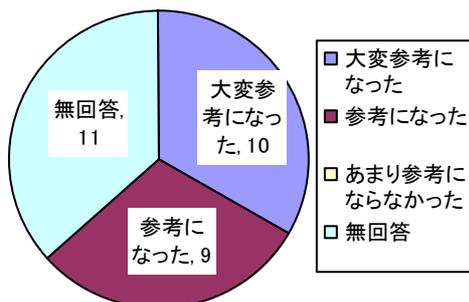


2 今回は蒲郡市の医療、保健、介護の関係者の方にご参加いただき、レクチャーとグループワークを実施しましたが、全体を通していかがでしたか？



多職種で直接話し合ったり交流したりできるよい機会だった。(4人)
患者に関わる人達がどれだけ情報を共有するかが大切だと感じた。
各職種の役割は何となく分かっていたが、その隙間で患者さんが何が困るのか、埋めなければいけないことがみえてきたのがよかった。
市民病院の太田先生からよい情報をいただいた。
予防、介護、医療の連携について知ることができた。
違う立場の方々の意見を伺えて、とても勉強になった。

3 一部はそれぞれの立場からレクチャーがありましたが、どの程度参考になりましたか。



それぞれの立場からの話について感想や意見がありましたら記入をお願いします。

第一部	感想・ご意見
かかりつけ医の立場から	<ul style="list-style-type: none"> 本人家族の立場からすると必要に応じて専門医を紹介してくれると思っていても実際は医師同士のやりとりはそう簡単ではないのだという事を知り、ネットワークが本当に役立っていると実感できた。 実際の症例を提示してもらい参考になった。 まったく同感。利用者を増やしたい。 専門医への紹介基準が明確になったことがよいと思う。 患者さんとのやさしい関わりに憧れます。 積極的にCKD ネットを活用されていることがわかった。 実際にネットワークを通じた事例を聞き連携を行うことで患者さん自身の病気の認識も付き治療に取り組んでいける効果があると認識できた。

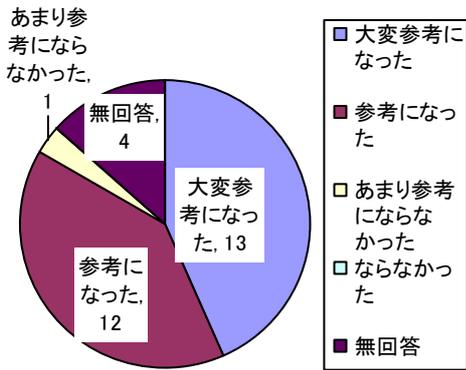
<p>かかりつけ医の立場から</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・大変参考になった。 ・専門医の先生方との連携の実態を知ることができました。 ・具体的な事例紹介がありどのように連携しているかがわかりました。 ・いろいろな事例がある中で高齢者が多く慢性疾患を抱えている人が増えている。 ・先生方が患者さんの思いを聞き、家族背景や生活状況をよく把握して受け入れた上で診てくださっていることにとっても感激しました。 ・CKD ネットを上手に活用してつなげてくださっていると思いました。 ・多職種の情報を得られ、診療、経過予想、対応処置にいかにつなげられるのかが課題として大きな問題。
<p>専門医の立場から</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・むくみから見えるものについて、特に高齢者は疾患とつながりにくいこと。 ・浮腫の原因再確認。 ・きつい仕事をお願いしているが頑張っていたきたい。 ・普段から関わりの少ない機関と交流できてよかった。 ・浮腫の話大変勉強になりました。(原因・種類・対処法など) 7人 ・薬についての服薬状況は正直に話していただけるよう気を配りたい。 ・浮腫の判断。これから注意深く観察していきたいと思う。 ・浮腫について知ることによって早期発見・介入にもつながると思う。 ・多くの情報を得られる有無は今後の経過予想・処置対応に関係することで連携の程度・可能性が今後の課題。
<p>市民病院の立場から</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・患者からしたら Dr の指示は絶対で疑わない。 ・何があっても薬のせいと気づかない。 ・患者さんが受診に来なくなるケースが多くどうやって意識を変えてもらうかが難しい。 ・腎臓内科医の立ち位置の確認ができた。2人 ・中堅専門医の色々な思いを受けとめます。 ・若年者への説明・理解については子供の頃から必要なのですね。大きな問題です。2人 ・しめじ・えのきは初耳。 ・本当にひどくなってからはしのびないですね。(太田先生頑張りましょう) ・若年者の介入。早期介入の大切さは認識していても難しいと感じるが、CKD ネットにつなげることで患者さん自身の行動変容につながるきっかけになるのではと思った。 ・行政・医療・介護などそれぞれの立場を活かした情報共有が大切だと思った。
<p>行政の立場から</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・1 人の人を広い目で総合的にみられるよう捉えることが大切と改めて思った。 ・高齢の方ほど事実確認が難しく全体が捉えにくいので情報を一元化・共有できるシステムがあると本当に助かると思う。 ・今後も頑張ってもらいたい。 ・日本中走り回って活躍してください。シックスパッド研究してください。 ・今後、健保の資料で市民の体調管理ができるとよいと思う。 ・蒲郡市民のメタボについて驚いた。 ・保健指導と栄養指導の住み分け期待します。 ・今までの取り組みや介入効果について詳しく知れた。 ・持続可能な社会を作るためにも対策は必要だと思う。 ・長期間健診未受診者が健診を受けると重症な症状が見つかるケースもあり、定期的な受診が重要。 ・重症化予防の効果や必要性がよくわかった。

4 二部のグループワークでは多職種の方とディスカッションしました

(1) 内容はいかがでしたか？

<理由>

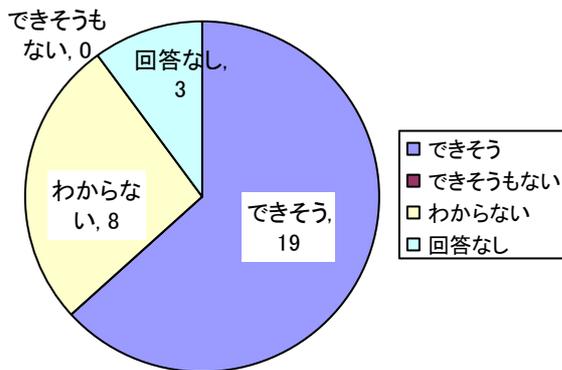
多職種の方と意見交換ができ有意義だった。9人多職種連携をさらに深めていきたい。
 他の職種の方が感じている問題点を知ることができた。各機関がどのような役割があるかどのような情報を共有できるとよいかなど考える機会になった。
 複数の医療機関を受診している方の薬の管理・調整を担うかかりつけ薬剤師の必要性を感じた。
 実際の活動を知ることができた。
 多職種の方の日頃の苦悩がよくわかる。状況の把握が課題。
 薬の話に偏っていた。



(2) 今後の連携につながりそうですか？現在の連携について課題などありましたら記載してください。

<理由>

お薬手帳の使い方有効利用が大切。
 患者さんへのよい支援や介入は関わる多職種間での連携が不可欠であると改めて感じた。実施にどこの誰に相談すれば良いのか迷ってしまいそうだった。
 会を重ねれば、つながりができて十分連携できそう。2人
 現在の連携について改めて考えたい。
 連続的連携ならば進化するだろうが、A-B、A-C、A-D の関係を多職種連携と言っても進化は難しいと思う。

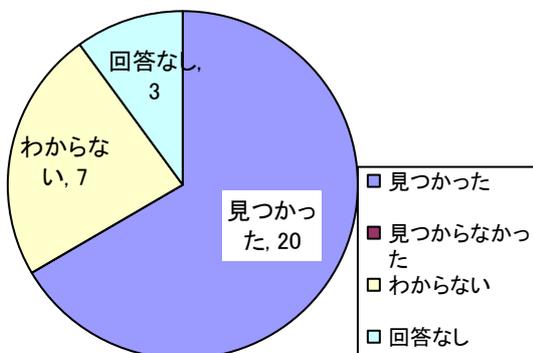


顔が見える相手とは連携できそうだが、他のグループの人となると自信が持てない。
 顔がわかるのは良いと思う。
 手帳を一つにまとめるまたは1セットで持つようにすることが大切。
 具体的な連携となるとなかなか実行は難しいと思う。

5 今回の会を通じて蒲郡市のDKD、CKD 対策への課題やヒントが見つかりましたか？

<理由>

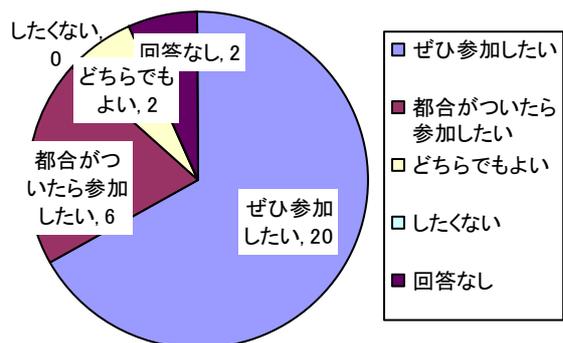
少しずつ互いの役割やできることを考えつなげていくことが大切だと思った。
 ほいっぷの活用をする。
 専門医への紹介となった時に高齢者だとそこまで行けないなど実際の受診にどうつなげるかが課題。
 多職種で同じ治療の方向性を向いていけるように共通のツールや媒体を使えるといいと思った。
 取り組みがよく理解できた。



外来担当が少なく問題として捉え切れていない。
 おくすり手帳の活用が今後も重要。
 今後の課題はまだまだ大きい。いろいろなハードより蒲郡市内の連携も一つ一つ解決していきたいと思う。

6 今後も定期開催したいと思いきが今後も参加をしていただけますか？

7 第2回の会議を開催するにあたり、都合がつきやすい曜日や時間



月	0	午前	2
火	0	午後	8
水	0	夜	2
木	0	特になし	9
金	0	回答なし	11
土	10		
日	1		
特になし	11		
回答なし	9		

8 第3回以降とりあげて欲しい内容や深めたい内容

- ほいっぷネットワークの使い方。
- 事例検討（多職種で考え連携につながるそれぞれの立場から日頃感じている事が出しやすい。多職種で考えることで、それぞれの考え方を聞く機会があるとよい。）
- 情報提供の方法（かかりつけ医、専門医、薬剤師、ケアマネ、介護士等）関係者間での連携体制、資質向上に向けて。
- 薬剤のこと。

ご協力ありがとうございました